

おひさま通信は、おひさま進歩エネルギー及びグループ会社の実施事業をご紹介する不定期発行冊子です

## 飯田自然エネルギー大学第2年次が始まりました！



第2年次第1回授業で講義を行う牧野光朗飯田市長。テーマは「イノベーションが起こる地域社会創造を目指して」。

太陽光や小水力、バイオマスなど地域に根ざした自然エネルギー事業の起業者を育成する「飯田自然エネルギー大学」の第2年次の授業が5月13日から始まりました。授業に先立って行われた始業式では、学長を務める京都大学大学院経済学研究科の諸富徹教授が「2年目となる今年は更に実践的なプログラムになる。再生可能エネルギーでビジネスを起こして地域の所得や雇用に貢献することが最終目的」とあいさつしました。

第1回授業は、諸富学長の講義のほか「飯田市とおひさま進歩エネルギー株式会社に取り組む再エネ事業」を全体テーマとして、飯田市の牧野光朗市長、飯田信用金庫の上沼俊彦常務理事、弊社の原代表取締役が講義を行いました。第2年次カリキュラムは、自然エネルギーの研究者や事業者による講義、受講生の事業計画をもとにした事例研究、事業計画の作成などを、飯田市旧飯田測候所を会場に年10回開催していきます。



ディスカッションの様子

## エネルギー大学初年度の授業風景



飯田市風の学舎での実地研修



根羽村ねばねの里での実地研修

飯田自然エネルギー大学は2年制で、初年度となる2016年度は講義と実地研修を組み合わせた授業を年10回開催しました。講義では受講生によるディスカッションも毎回行われました。実地研修では、飯田市を中心に再エネ事業現場を訪問。関係者から直接話を聞き、ニーズや事業化に向けた課題を学びました。







## 旧飯田測候所で「さんぽちゃんパネルシアター」

3月3日、飯田市丸山保育園のお別れ遠足で園児と保育士の先生方がおひさま進歩エネルギー社の事務所がある旧飯田測候所に遊びに来てくれました。昼食後には、測候所前の芝生でおひさま進歩のマスコットキャラクター「さんぽちゃん」が登場するパネルシアターを上演。太陽光パネルや身近な家電の絵を見せながら、電気や水のムダ使いをしないように呼びかけました。

さんぽちゃんのパネルシアターは、環境学習として近隣施設やイベントでの出張上演もしています。上演を希望される方は、弊社までご連絡ください。



## 小水力発電の開発に向けて



馬路村の村営発電所取水口



ゆず色に塗装したフランシス水車を導入

弊社では地産地消の創エネルギーとして、これまで太陽光発電を主に行っていますが、次の新しい電源として小水力発電も研究しています。

先日、「ゆず」で有名な高知県馬路村の小水力発電を視察しました。馬路村が事業主体として145kWの水車を設置し、川の水でCO2フリーの発電をしている事業です。小水力発電は昼も夜もずっと発電できるため、太陽光発電に換算するとパネル700kW程度に相当する発電ができます。太陽光の5倍程度の発電効率です。

馬路村の小水力発電所では、自然の滝つぼを活かした取水施設で水を取り、切り立った崖を水圧管で一気に落として水車を回し、発電機の動力にしています。発電を終えた水は、発電所のすぐ下で川へ戻っていました。

メンテナンスでは、敢えてゴミの自動除塵機ではなく、地元の若者を雇用して毎日手作業で枯れ葉等を取り除いているそうです。機械にお金をかけるより、人手へお金をかけて雇用を創出する考えです。また、無理に事業規模を大きくして補助金を使って成り立たせるのではなく、徹底的に不要な設備を削ぎ落とし、村予算だけで身の丈にあった事業を行うという点もとても感心しました。

事業の体制を何うと、村職員は水力のプロではないため、設計や工事行程の管理ができるパートナーがいました。そのパートナーは、その名も「地域小水力発電株式会社」。高知県内の地域ベンチャーで、地域づくりに役立つ小水力発電を理念にがんばっている会社でした。不思議なご縁で、2011年に地域小水力発電さんが起業される時、弊社へ相談に見えて、前向きな勇気づけをされたことが大きかったそうです。同じ志の会社ですので、信州での小水力発電の開発でも連携していけたらと考えています。私達も、近い将来に小水力発電への出資募集ができるようがんばりますので、楽しみにしててください！

(おひさま進歩エネルギー(株)・蓬田裕一)

## おひさまエッセイ「環境月間に思う」

世界環境デーである6月5日の直前に、米国トランプ大統領がパリ協定から離脱すると表明しました。

人が殺し合う戦争や、人類の活動が引き起こしている気候変動は、人類の叡智で防ぎ、止めなければなりません。人は想像したり、創造する能力を持っています。浅田次郎氏の著作「獅子吼」の中で、ライオンにライオン以下だと皮肉られたような生き方をしてはならないと思います。

同書はその最後に「愚かき人間よ。牙も爪も鬣もなく、矜持のかけらすらもない哀れな・・・」と。

戦乱の中で苦しむ市民、気候変動で働き、生きる場所を追われる人や動植物など、弱者や他者を想像し思いやる心があれば、為すべきこと、創造すべきことは見えてくるはずです。

おひさま進歩エネルギー(株)代表取締役 原亮弘



おひさま進歩エネルギー株式会社

長野県飯田市馬場町3丁目441番地 / TEL0265-56-3711

おひさまエネルギーファンド株式会社・NPO法人南信州おひさま進歩